

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の猛威は、依然予断を許さない状況が続いております。医療・福祉をはじめ、地域の安全安心を守るために日々従事されている多くの皆さまに、敬意を表す

とともにそのご尽力に心より感謝申し上げます。

本市においては、新型コロナ対策として国・県の動きと連携し、市民生活と地域経済の安定化に全力を挙げて取り組み、時宜にかなった様々な緊急対策を講じてまいりました。また、物価高騰への対応も進めており、今後も引き続き迅速かつ的確な対策を図ってまいります。

さて昨年は、市制施行70年という節目の年でした。周年のテーマを「ともに、かなえる」とし、国連で採択されたSDGsの「誰一人取り残さない」の理念に沿い、様々なイベントを実施し、記念すべき年を多くの皆さまとともにお祝いすることができました。

また近年、本市の長年にわたる都市基盤整備の成果が評価されるようになり、新たな商業施設やアリーナ

の建設等、民間企業による大型投資が活発化してきています。こうした民間企業の大型投資が相次ぐことを光栄に存じ、その経済効果に期待しておりますが、一方で大型施設等の建設により地域環境が様変わりをし、様々な余波が周辺に及ぶことも懸念されます。開発に伴う様々なリスクについて、関係企業と情報交換を図り早い段階で問題解決に努め、多くの皆さまに喜んでいただける開発とせねばならないと考えております。

そして今年は、本市8カ年の長期計画「第8次総合計画」の最終年となります。目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現を図るため、様々な施策を展開するとともに、コロナ禍からの脱却に向けた投資や子ども達の教育環境の充実、災害対策の強化といった視点を持って、本市の明るい未来への種まきとなる事業も推進してまいります。本年が19万市民にとってよき1年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。

安城市長 神谷 学



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新春を寿ぎ、市議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が始まって3年目となり、我が国では収束が見えるかと思いきや、未だ安心できる状況ではありません。しかしながら、そのメカニズムや対処方法がかなり確立されてまいりました。

一方、世界に目を向けてみますと、昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻の状況も徐々に変化し、未だ先が見通せない緊迫した状況が続いております。また、燃料価格の高騰をはじめとした物価高騰や、米中対立による国際情勢の不安定化等心配する要素が多いものの、私達は、いつも希望を持ってことに臨んでいきたいと思っております。

昨年は市制施行70周年の記念すべき年として、本市

議会におきましては「あんじょう未来ミーティング～With 中学生～」を開催いたしました。市内8中学校から選出された中学生議員を議場に招き、市政について様々な質問や提言をいただきました。演壇に堂々と立つ中学生議員の姿はとても素晴らしく、周年記念事業にふさわしいものになったと思っております。

また、海外の姉妹都市提携の節目の時期であり、昨年はアメリカ合衆国ハンチントンビーチ市との40周年、デンマーク王国コリング市との25周年を迎え、今年はオーストラリア連邦ホブソンズベイ市との35周年を迎えます。コロナ禍のため交流の停滞はありましたが、本市の国際都市としての発展を期待するとともに、目指す健幸都市の実現に寄与すべく、本市議会としても尽力いたす所存です。

結びにあたり、市民の皆さまにとって新しい年に幸多かれとご祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

安城市議会議員 近藤 之雄

第8次安城市総合計画(後期計画)を 推進するための**実施計画**を策定しました

実施計画とは、長期的なまちづくりの指針である第8次安城市総合計画で目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」を実現するために、総合的かつ計画的なまちづくりを推進するための計画です。令和5年度～7年度の実施計画に掲げた主な事業を、総合計画の重点戦略「健幸都市推進プロジェクト」である「ひとづくり」「しごとづくり」「まちづくり」に分けて紹介します。

ひとづくり ～健康で幸せに暮らし続ける～

つながり促進事業

不登校の対策として、児童生徒個々を孤立させず、「どこか」と「だれか」とつながりを持てるよう支援します。社会福祉士の資格を持つスクールソーシャルワーカーを新たに配置し、支援体制のより一層の強化を図ります。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 5,100万円 |
| 令和6年度 | 5,600万円 |
| 令和7年度 | 6,100万円 |

スクールアシスタント事業

各校の特色や実情に合わせて、学習指導や児童生徒支援等に必要業務の補助員を活用し、創意工夫を生かした教育活動や教育環境づくりを進めます。医療的ケア児に対する看護師の配置や、食事や排せつの補助を必要とする児童生徒のための介助員の配置を拡充し、より細やかな支援を図ります。



| | |
|-------|-----------|
| 令和5年度 | 1億1,300万円 |
| 令和6年度 | 1億1,300万円 |
| 令和7年度 | 1億1,300万円 |

公民連携プロジェクト

持続可能なまちづくりとなるSDGsを推進するため、公民連携事業や次世代人材育成を行います。「あんじょうSDGs共創パートナー制度」を中心に、若者、企業、社会をつなげる、共創の取組みをみんなで育てます。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 2,000万円 |
| 令和6年度 | 1,500万円 |
| 令和7年度 | 1,300万円 |

まちづくり ～みんなでつくる住みたい、住みつづけたいまち～

ゼロカーボンシティ推進戦略策定事業

2030年の温室効果ガス削減目標、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、地球温暖化対策の推進を図るための戦略を策定します。



| | |
|-------|-------|
| 令和5年度 | 560万円 |
| 令和6年度 | 660万円 |
| 令和7年度 | — |

調整池整備事業(追田排水区)

大雨による浸水被害が発生している追田排水区内において、浸水区域の上流にある追田公園等に調整池を整備し、浸水被害の軽減を図ります。



| | |
|-------|-----------|
| 令和5年度 | 2,500万円 |
| 令和6年度 | 2,200万円 |
| 令和7年度 | 2億5,100万円 |

防犯カメラ整備事業

公設の街頭防犯カメラを設置することで、犯罪の未然防止及び事件の早期解決を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりの実現を目指します。令和5年度～9年度に毎年100台ずつ防犯カメラを新設します。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 1,200万円 |
| 令和6年度 | 1,500万円 |
| 令和7年度 | 2,500万円 |

しごとづくり ～新しい時代の流れを力にし、安定した雇用を維持する～

がんばる中小企業応援事業

市内中小企業者の技術力や競争力向上等を図るため、新規事業への参入や専門的な相談等について、総合的に支援を行います。新たにカーボンニュートラルやデジタル化への補助を行い、市内中小企業者の新たな取組みへの支援を強化します。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 1億600万円 |
| 令和6年度 | 9,100万円 |
| 令和7年度 | 9,100万円 |

企業立地推進事業

既存企業の流出抑制や新規企業の誘致等、企業立地の推進を図ります。北山崎地区(北山崎町、尾崎町)における公共主導の工業団地の整備検討を具体的に進めるとともに、第9次安城市総合計画の内容に合わせ、企業立地推進計画を改定します。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 500万円 |
| 令和6年度 | 3,000万円 |
| 令和7年度 | 1億100万円 |

自転車活用推進事業

安全で快適な自転車利用を推進するための環境整備を行います。自転車通行空間の整備や、主要駅等で24時間利用可能なシェアサイクルの導入等を通じて自転車の活用を推進し、環境負荷の軽減や利用者の健康増進を図ります。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 2,100万円 |
| 令和6年度 | 1,800万円 |
| 令和7年度 | 1,800万円 |

三河安城パワーアップ再生推進事業



JR三河安城駅周辺において、まちの魅力を高めるため、ミーティングや社会実験等の取組を通じて、公民連携のまちづくり活動を推進します。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 4,700万円 |
| 令和6年度 | 4,100万円 |
| 令和7年度 | 8,000万円 |

行財政運営

DX推進事業

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進により、市民サービスの向上や行政事務の効率化を図ります。窓口業務等のDX化やデジタルデバインド対策に取り組むことで、デジタル市役所の実現を目指します。



| | |
|-------|---------|
| 令和5年度 | 3,600万円 |
| 令和6年度 | 1,900万円 |
| 令和7年度 | 1,900万円 |



リモート窓口をご利用ください

支所のパソコンから本庁の窓口へオンラインでつなぎ、モニターを通して職員と対面で、手続に関する問い合わせや相談ができます。予約不要ですので、お近くの支所でぜひご利用ください。

※実証実験のため、対応できる手続等は、国保年金課、高齢福祉課、保育課の一部です。



【期間】→ 1月11日(水)～3月31日(金)

【場】明祥支所・桜井支所・北部支所

【問】経営情報課(☎(71)2207)

衣浦東部広域連合からのお知らせ

令和4年第2回衣浦東部広域連合議会臨時会を11月21日に広域連合議場(刈谷市役所)で開催しました。議会では、監査委員(議員選出)の選任についての人事案件が同意されました。また、衣浦東部広域連合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての議案が可決されました。

●今回選出の衣浦東部広域連合議会議員(議席番号順、敬称略)

知立市選出→中島清志、杉浦弘一、川合正彦

●同意された人事

監査委員(議選)→中島清志

【問】衣浦東部広域連合総務課(☎(63)0131)



市政情報

ご寄附いただきました

受付順/敬称略

明治安田生命保険相互会社、三河西部電気工業協同組合亀らく会、三菱UFJ銀行安城支店、(株)国際開発コンサルタンツ、(株)アイシン

指定管理者の候補者を選定

【問】健幸=SDGs課(☎(71)2204)

令和5年度から下記施設の管理・運営を行う指定管理者の候補者を、市指定管理者選定委員会において下表のとおり選定しました。詳細は健幸=SDGs課、市HPで閲覧可。

| 施設名 | 指定管理者の候補者 | 指定期間 | 担当課 |
|------------|--------------------|--------------------------|-------|
| 安城市民交流センター | NPO法人愛知ネット | 令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間) | 市民協働課 |
| 安城市民会館 | (株)ケイミックスパブリックビジネス | 令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間) | 生涯学習課 |

広報あんじょう保存用ファイルは繰り返しご使用ください

令和4年から広報あんじょうの保存用ファイルは繰り返し使用するよう願っています。広報あんじょうを保存する場合は、昨年と今年の広報を入れ替えてください。なお、破損等でファイルが必要になった場合は、市役所・各地区公民館・各福祉センターへお申し出ください。

【問】秘書課広報広聴係(☎(71)2202)

やってみよう
防犯

特別編

「なんきち先生とぶんちゃん」

特殊詐欺対策講座

新美南吉の下宿先のイメージキャラクター
「なんきち先生」「ぶんちゃん」と特殊詐欺について学びましょう！

「被害防止機能付き電話機」でサギ対策を!!

オススメ機能 その2

★通話が始まる前に、相手に**自動で警告メッセージ**を流し、更に**自動で通話を録音**！

★迷惑電話番号データベースに登録された番号や、電話機本体に登録していない番号は...
→**着信を拒否**！

★これらの番号からの着信時に、赤いランプや画面表示等で...
→**事前に警告**！

市が購入費補助します！
上限2,000円
市公式サイト

被害防止機能付電話機に換えるなら今だ！

早めにご交換を!!

【問】安城警察署(☎(76)0110)、市市民安全課(☎(71)2219)

28 広報あんじょう 2023.1

安城プレミアム商品券の 利用期間は1月31日(火)まで

期限を過ぎた券の利用や、未利用の券の払い戻しはできません。



安城プレミアム商品券を購入した人は、必ず期限までに取扱店で利用してください。取扱店舗は安城プレミアム商品券専用HP(QRコード)で確認してください。

問 安城プレミアム商品券事務局(安城商工会議所内／☎(45)7688)



副市長の退職

問 人事課(☎(71)2203)

三星元人副市長(62歳)が令和4年12月7日付で退職しました。後任は当面不在となります。

令和4年秋の叙勲・褒章受章者

市内の受章者は下記の皆さんです。(敬称略／受章発表時点の内容)

旭日単光章 岩瀬繁松(地方自治功労／城ヶ入町)

瑞宝単光章 犬塚博文(消防功労／小川町)

岩堀修(警察功労／篠目町)

問 秘書課(☎(71)2201)

第37回安城市農業賞受賞者

問 農務課(☎(71)2233)

地域農業の発展に尽くした人等を顕彰する安城市農業賞受賞者は下記の皆さんです。(敬称略)

●地域づくり活動部門

高棚環境向上委員会(高棚町)

平成19年4月1日設立。高棚町地域の農地や水路の維持保全、農業用施設の長寿命化を目指して活動を行う。この地域では、昭和40年代に県営ほ場整備事業が行われ、ほ場の大型化等が進められたことに伴い、農作業の大型機械化を推進し、経営の合理化・安定化を図ってきた。しかし、年月の経過とともに農業用施設等の老朽化が顕著となり、同組織を立ち上げた。農地の草刈りや水路の泥上げ、用排水路の補修を行う等、精力的に活動している。また、近隣小学校や老人クラブ等と連携した稲作体験を行う等、住民と協力した活動を通じて、地域の発展にも大きく寄与している。



●営農部門 富田隆義(藤井町)

昭和36年生まれ。平成26年に就農し、親から引き継いだいちごハウスを拡大し、地域の雇用創出にも寄与。平成28年にはJAあいち中央いちご部会長、平成29年には愛知県いちご生産組合連合会会長を歴任する等、JAあいち中央管内だけでなく愛知県下のいちご生産の活性化に大きく貢献する。近年は研修生を積極的に受け入れ、次世代農業者の育成・確保に尽力するとともに、自身でも、水田作、畑作、果樹作の複合経営を営み、地域農業の維持・発展に精力的に取り組んでいる。



●農業青年奨励部門 野村篤志(姫小川町)

昭和54年生まれ。平成26年に就農し、米・麦・大豆を生産。JAあいち中央青年部安城地区では、平成28年に書記、平成30年に青年部長を、JAあいち中央青年部では、平成30年に青年部副部長を歴任する。JAあいち中央管内全体の農業後継者の意見をまとめ、将来の地域農業を担う若き農業者の先導役として活躍。桜井南部地区の担い手として経営面積は年々拡大しており、今後更なる活躍が期待されている。

